

【九州広域復興支援ファンド】 株式会社日本風洞製作所に対する投資実行について

株式会社地域経済活性化支援機構が九州地方の地域金融機関等と共同で設立した「九州広域復興支援ファンド」(以下、「本ファンド」という。)は、本日、株式会社日本風洞製作所(以下「日本風洞製作所」という。)に対し投資を実行しましたので、お知らせいたします。なお、本件は、本ファンドの第11号投資案件となります。

日本風洞製作所は、小型風洞試験装置『Aero Optim』や、差動機構付き2重プロペラ風力発電機を開発・製造する“風の総合メーカー”で、

- ① 短距離で効率よく気流の状態を安定させる独自の「短距離整流技術」
- ② 高効率かつ低コストの「風力発電技術」
- ③ 高精度・耐久性を併せ持つ「測定台技術」

の3つをコア技術としています。

『Aero Optim』は、「世界一導入しやすい風洞」をモットーに開発された、これまでの「大きい・長い・高額」という風洞の常識を覆す、「コンパクト・短い・低コスト」の小型風洞試験装置です。特に最新シリーズの『Aero Optim-Cell』は、風洞の構成要素をユニット化し、送風面積を約70cm四方単位で選べることで、送風の面積やクオリティで幅広い需要に応えることが可能となりました。これにより、従来は特定の産業分野のみでの利用が主であった空気抵抗の測定や気流の観察、耐風試験などについて、スポーツや農業、さらにはレジャー産業などの幅広い分野での利用拡大が見込まれています。

差動機構付き2重プロペラ風力発電機は、2層のプロペラを取り付け、それぞれのプロペラの動力を「差動機構」を通じて1つの発電機に伝達することで、従来の1層プロペラの風力発電機よりも起動性・発電量に優れた、高いコストパフォーマンスを実現しました。

また、風洞実験装置では、自転車用測定台などのスポーツ用途専用測定台を、風力発電機では、強風から風車を保護するための全自動可倒式タワーなどの関連製品も開発販売しており、ユーザーのニーズに沿ったソリューションの提供にも強みがあります。

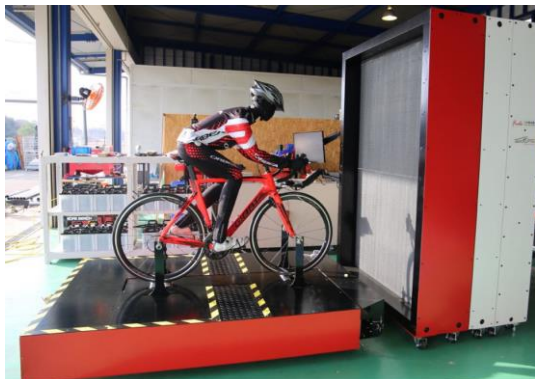
日本風洞製作所は、今回の資金調達により、主に『Aero Optim』シリーズの量産化に向けた設備導入や、性能向上に向けた研究開発を実施します。

こうした取組みは、九州地域の事業者への支援を通じた九州経済の活性化という本ファンドの趣旨に合致することから、本ファンドでは日本風洞製作所の事業展開に必要な資金の一部を支援いたします。

今後も、本ファンドは震災からの復興に貢献するため、被災された九州地域の事業者及び同地域の復興に資する事業者に対する投資を行ってまいります。

【風洞試験装置の使用例】

スポーツ分野



研究開発分野（耐風試験）



収納時

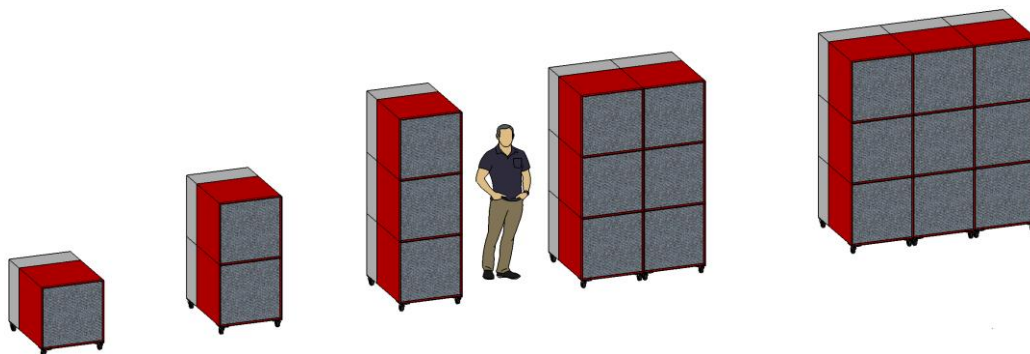


研究開発分野



※画像は旧 Aero Optim シリーズのものです。現在は Cell シリーズに統合されております。

【Aero Optim-Cellシリーズ: ユニットのスタック例】



【2重プロペラ風力発電機】



前後のプロペラの動力の結合機構



【投資先の概要】

企業名	株式会社日本風洞製作所
本社所在地	福岡県久留米市
設立年月日	2016年10月
資本金	9,091万円
代表取締役	ローン・ジョシュア
事業内容	風洞試験装置および風力発電機ならびに関連製品の開発製造販売
ホームページ	https://japanfudo.com/

【九州広域復興支援ファンドの概要】

機構ホームページをご参照ください。

<http://www.revic.co.jp/business/fund/06.html>

以上

<お問い合わせ先・ご相談の連絡先>

株式会社地域経済活性化支援機構

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表: TEL 03-6266-0310

地域活性化支援部: TEL 03-6266-0590